

地域創生総合ビジョン 鏡石町まち・ひと・しごと創生総合戦略 効果検証結果

4段階 評価	100%以上	A
	70%以上	B
	1%～70%未満	C
	実績値なし	D

**基本目標 1 安心して子育てができる結婚・出産・子育てのトータルな環境を整え、若者の心をつかむ**

頁数	総合戦略	基本目標、施策名	【基準値】 現状値 (H26年度末)	→	達成状況 (H30年度末)	目標値 (H31年)	達成率 (%)	担当課	達成評価	備考
P7	基本目標	① 合計特殊出生率 (%)	1.67	→	1.55	1.77	87.6	税務町民課	B	
P7	基本目標	② 子育て世代の転入超過数 (人)	17	→	13	29	44.8	税務町民課	C	

【総合評価】  
 ●「合計特殊出生率」については、出生数が直近3年間の平均が100人前後となっており、目標値を下回った。引き続き、安心して出産や子育てができるよう切れ目ない支援を展開していく必要があります。  
 ●「子育て世代の転入超過数」は、目標値に達しなかったことから、若い世代のUIターン促進と子育て支援制度の充実やその周知を進めるなど地道な取り組みが求められます。  
 ●安心して子どもを生み育てられるよう町の環境を整えるとともに、保育から教育を終了し、子どもが仕事に就けるまでのビジョンが描けるまちづくりを進めることによって、若い世代の新規転入の促進に努めていく必要があります。

**施策-1 子育て期にある若い世代をさまざまな面から支援し、子育てしやすいまちづくりを進める**

P7	施策	① 妊婦基本健診受診率 (%)	96	→	79.3	100	79.3	健康環境課	B	
P7	施策	② 不妊治療に対する助成事業の利用件数 (件/年)	0	→	0	10	0.0	健康環境課	D	H31年度新規事業として取組開始
P7	施策	③ 保育所の待機児童数 (人)	0	→	0	0	100.0	福祉こども課	A	
P7	施策	④ 放課後児童クラブの利用率 (%)	33	→	35.4	35	101.1	福祉こども課	A	
P7	施策	⑤ 一時預かり(園児を主に対象) (人/日)	828	→	2,080	833	249.7	福祉こども課	A	
P7	施策	⑥ 延長保育 (人)	63	→	142	67	211.9	福祉こども課	A	

**施策-2 体験やスポーツを通じた町独自の教育環境づくりを進める**

P9	施策	① かがみいしスポーツクラブの会員数 (人)	651	→	639	1,000	63.9	教育課	C	
P9	施策	② 体育施設の利用者数 (人/年)	211,639	→	197,361	240,000	82.2	教育課	B	
P9	施策	③ スポーツ大会等(教育委員会表彰大会)で表彰された人数 (人/年)	21	→	24	25	96.0	教育課	B	
P9	施策	④ 各事業(スポーツ、農の魅力、特別授業)参加者数								
		④-1.スポーツ事業参加者数 (人/年)	2,800	→	3,244	3,700	87.7	教育課	B	
		(人)	1,600	→	1,959	1,700	115.2	教育課	A	
		うちスポーツ事業、ロードレース等 うち、かがみいしスポーツクラブ事業 (回数)	100	→	96	150	64.0	教育課	C	
		(人数)	1,200	→	1,285	2,000	64.3	教育課	C	
		④-2.農の魅力事業参加者数 (人/年)	0	→	6	30	20.0	産業課	C	
		④-3.特別授業参加者数 (人/年)	0	→	118	50	236.0	教育課	A	

**施策-3 若い世代が住みたくなる、来たくなる環境づくりを進める**

P10	施策	① 魅力UPイベントの来場者数 (人/年)	500	→	334	1,000	33.4	産業課	C	
		うち、あやめウオーク実施回数、来場者数 (件)	3	→	2	3	66.7	産業課	C	
		(人)	500	→	169	600	28.2	産業課	C	
		うち、新規事業によるイベント (人)	0	→	60	400	15.0	産業課	C	

**施策-4 豊かな自然や農業のフィールドを提供した若い人の出会いの場づくりを進める**

P11	施策	① 出会いの場への開催回数、結婚成就件数 (回/年)	0	→	2	2	100.0	総務課	A	
		(組)	0	→	0	3～5	0.0	総務課	D	H30年度より追跡調査本人了承
P11	施策	② 若者が集うサークルの結成数 (団体)	0	→	2	2	100.0	総務課 教育課	A	

【総合評価】  
 ●「保育所の待機児童数を出さない」、「放課後児童クラブの利用率」、「一時預かり(園児を主に対象)」、「延長保育」では、鏡石保育所の公設民営化等などにより、目標値を上回っており、子育て期にある若い世代をさまざまな面から支援し、子育てしやすいまちづくりを継続して進める必要があります。  
 ●「妊婦基本健診受診率」についても、『概ね順調』であり、「不妊治療に対する助成事業の利用件数」は、平成31年度より新規事業として取り組みを始めます。  
 ●スポーツを通じた町独自の教育環境づくりを進めており、着実に事業成果が得られていることから、今後も若い世代への楽しく安心して学べる町をPRしていきます。  
 ●「魅力UPイベントの来場者数」は、目標値を下回っているが、今後も町のイメージアップ、魅力を高めることにより、若い世代が住みたくなる、来たくなる環境づくりを進めます。  
 ●若い人の出会いの場「婚活イベント」は実施しているものの、結婚成就の成立までいたっていないが、未来に向けて共に生きるカップルがたくさん生まれ、若い世代が目にする町づくりを進めていきます。また、若者が集うサークルについては、生涯学習文化協会による教室から若者を中心とした多世代の交流の場として、継続的な活動を進めており、今後もより一層の活動の場を広げていきます。

基本目標 2		町の魅力を高め、アピールすることでのぎわいを生み交流を盛んにする								
頁数	総合戦略	基本目標、施策名	【基準値】 現状値 (H26年度末)	→	達成状況 (H30年度末)	目標値 (H31年)	達成率 (%)	担当課	達成評価	備考
P12	基本目標	① 交流人口 (人)	65,000	→	138,212	100,000	138.2	産業課	A	
P12	基本目標	② 町のHPへのアクセス数 (回/年)	111,117	→	186,551	150,000	124.4	総務課	A	
【総合評価】										
●交流人口については、「イベント集客数」「まちの駅かんかんてらす来場数」などにより、目標値を上回った。「アクセス件数」でも、年々増加しており、目標値を大きく上回っており、今後も継続して情報発信するとともに、誘客促進及び滞在時間の延長が図れるよう、魅力ある鏡石町を伝えていく必要があります。										
施策一 1		既存施設を有効に利用するとともに、町の魅力を発信する新たな施設を整備する								
P12	施策	① 耐震改修により長寿命化された施設の数、割合  (施設)  (%)	18	→	19	19	100.0	総務課	A	
			94.7	→	100	100	100.0	総務課	A	
			0	→	1	1	100.0	産業課	A	
P12	施策	② 町の魅力施設の設置 (施設)	0	→	1	1	100.0	産業課	A	
施策一 2		町の魅力資源・イベントを内外へ発信・PRし、人を呼び込む								
P13	施策	① 田んぼアート等集客イベント開催数、来場者数  (回)  (人/年)	2	→	19	3	633.3	産業課	A	
			16,943	→	69,442	30,000	231.5	産業課	A	
			1	→	3	2	150.0	産業課 教育課	A	
P13	施策	② シティプロモーション※の実施回数、参加者数  (回)  ※6次化新商品試食会 スポーツ施設利用イベント等 (人/年)	150	→	598	300	199.3	産業課 教育課	A	
施策一 3		町の産業の活性化と新規産業の誘導を図り、U・Iターン希望者を呼び込む								
P14	施策	① 6次化産品の創出件数 (件/年)	0	→	1	2~3	50.0	産業課	C	
P14	施策	② 町の魅力施設(物産販売等)の設置 (件/年)	0	→	1	1	100.0	産業課	A	
P14	施策	③ 農家体験入学制度の利用者数 (人/年)	0	→	0	5	0.0	産業課	D	新規就農者の研修実施 (H28・H29実績有)
P14	施策	④ 企業誘致優遇策の応募件数 (件/年)	47	→	46	60	76.7	産業課	B	
【総合評価】										
●学校等公共施設、体育施設の長寿命化が図られ、目標値を上回った。また、町の農産物、特産品を販売する新たな施設「かんかんてらす」を整備することができたことにより、今後も町の魅力を福島県内外に情報発信していく必要があります。 しかし、農・商・工業が連携した6次化産業や農家体験入学、町内企業の優遇策等については、目標値を下回っていることから、産業の活性化と新規産業の誘導を図り、Uターン、Iターン希望者を呼び込む必要があります。										

基本目標 3		日々の暮らしにおける安全性や利便性を高め、定住条件を整える									
頁数	総合戦略	基本目標、施策名	【基準値】 現状値 (H26年度末)	→	達成状況 (H30年度末)	目標値 (H31年)	達成率 (%)	担当課	達成評価	備考	
P16	基本目標	① 生産年齢人口の転入超過数 (人)	17	→	-49	29	-169	税務町民課	D	定住対策への取組	
P16	基本目標	② 商業販売額 (億円)	121	→	176	150	117.3	産業課	A	H28経済センサス数値採用、次回調査R3	
【総合評価】											
<p>●「生産年齢人口の転入超過数」について、基準値よりも下回る結果となった。人口減少や地域活性化のためには、生産年齢人口の維持、増加が必要不可欠となることから、若者のUターン促進や子育て世代の定住などの課題に、取り組んでいく必要があります。</p> <p>●「商業販売額」については、平成28年度経済センサス数値を見る限り、基準値より上回っているが、その後、調査未実施のため確認できない状況であるが、景気の動向を見据えつつ、補助制度などの支援など検討を進める必要がある。</p>											
施策-1		町民のだれもが利用できる安全で便利な交通環境を整える									
P16	施策	① 町内周遊バスの利用者数 (人/年)	108	→	553	240	230.4	福祉こども課	A		
P16	施策	② 駅駐車場の設置台数 (台)	82	→	82	120	68.3	総務課	C		
P16	施策	③ JR鏡石駅の利用者数 (人/年)	314,995	→	319,010	330,000	96.7	総務課	B		
施策-2		生活面での危険性を低減し、安心して暮らせるまちづくりを進める									
P18	施策	① 犯罪認知件数の減少 (件/年)	115	→	76	100	260.0	総務課	A		
P18	施策	② 交通事故、踏切事故の人身事故発生件数 (件/年)	48	→	25	30	127.8	総務課	A		
P18	施策	③ 地域防犯組織の設置数、パトロール実施回数 (団体)	4	→	4	4	100.0	総務課	A		
			(回/年)	52	→	52	60	86.7	総務課	B	
施策-3		買い物がしやすく、生活が便利なまちづくりを進める									
P19	施策	① 新規商業施設等立地件数 (件)	0	→	1	2	50.0	産業課	C		
施策-4		効率的できめ細やかな行政サービスを実施する									
P19	施策	① 窓口サービスが良かったという町民の意見数 (件/年)	0	→	0	10	0.0	総務課	D	まちづくりふれあいボックス実績数なし	
施策-5		健康長寿のまちづくりを進める									
P20	施策	① スポーツ祭、敬老会等の高齢者参加イベントの開催件数、参加者数 (回)	91	→	138	150	92.0	福祉こども課	B		
			(延人/年)	1,888	→	2,167	2,831	76.5	福祉こども課	B	
P20	施策	② サロン開設数 (か所)	3	→	9	13	69.2	福祉こども課	C		
P20	施策	③ がん検診受診率 (%)	胃がん	25.2	→	26.2	50	52.4	健康環境課	C	
			肺がん	39.6	→	34.6	50	69.2	健康環境課	C	
			大腸がん	28.0	→	33.8	50	67.6	健康環境課	C	
			子宮頸がん	25.3	→	45.4	60	75.7	健康環境課	B	
			乳がん	25.9	→	40.3	60	67.2	健康環境課	C	
P20	施策	④ 特定健診受診率 (%)	38.7	→	43.3	50	86.6	健康環境課	B		
P20	施策	⑤ 特定保健指導利用率 (%)	12.0	→	53.8	50	107.6	健康環境課	A		
P20	施策	⑥ 運動習慣者の割合 (%)	30.7	→	47.2	35	134.9	健康環境課	A		
【総合評価】											
<p>●駅を中心にコンパクトな市街地を形成している町の形態を利用した、「町内周遊バスの利用者数」、「駅駐車場の設置台数」、「JR鏡石駅の利用者数」については、『概ね順調』に推移しています。今後も継承し、この特性に合わせて、町民のだれもが利用できる安全で便利な交通環境を整える必要があります。</p> <p>●防犯面や交通安全など「犯罪認知件数の減少」、「交通事故、踏切事故の人身事故発生件数」、「地域防犯組織の設置数、パトロール実施回数」では、低減され、目標値に達成しており、安心して暮らせる町として環境整備に努めています。</p> <p>●「新規商業施設等立地件数」については、コンビニ等が新規立地されたものの、目標値を下回ったことから、今後も買い物を通じて生活に便利なまちづくりを進める必要があります。</p> <p>●町民のために行政窓口を集約するなど今後も継続的に効率的で、きめ細やかな行政サービスに心がけていく必要があります。</p> <p>●「スポーツ祭、敬老会等の高齢者参加イベントの開催件数、参加者数」については、『概ね順調』となりました。</p> <p>●「サロン開設数」は、目標値を下回っているが、今後も元気な高齢者を呼び込み、コミュニティ活動やイベントなど、様々な社会参加を通じて、町の活性化を図ります。</p> <p>●「がん検診受診率」、「特定健診受診率」、「運動習慣者の割合」については目標値を下回っており、「特定保健指導利用率」では、目標値を上回っており、訪問等による対面式での保健指導を実施していることから、今後も継続的に健康長寿のまちづくりを進めます。</p>											

基本目標 4 住みやすい住宅地を形成し転入増を図る										
頁数	総合戦略	基本目標、施策名	【基準値】 現状値 (H26年度末)	→	達成状況 (H30年度末)	目標値 (H31年)	達成率 (%)	担当課	達成評価	備考
P22	基本目標	① 転入増 (人/年間)		→	473	過去5年のピーク 500回復	94.6	税務町民課	A	
P22	基本目標	② 人口の転入超過数 (人)	17	→	-27	34	-79.4	税務町民課	D	H27・H29年度は転入 超過プラス実績
【総合評価】										
●「転入増」「転入超過数」は、目標値に達することができなかった。 今後も鏡石町に住んでもらう・住み続けてもらうために「鏡石町の魅力」を県内外に向けて効果的に情報発信していく必要があります。										
施策－1 駅東に通勤に便利で優良な住宅・宅地等の供給を促進する										
P22	施策	① 新規住宅地(鏡石駅東第1土地区画整理事業地区)の整備区画数 (区画)	2	→	150	84	178.6	都市建設課	A	
施策－2 新たな転入者等に対し、居住の場の確保について支援する										
P23	施策	① 住宅着工戸数 (戸/年)	55	→	87	65	133.8	都市建設課	A	
P23	施策	② 新規住宅取得者やおためし居住事業への助成件数 (件/年)	0	→	0	5	0.0	総務課	D	H31年度新規事業として 取組開始
P23	施策	③ 3世代同時転入(近居)推進事業を活用して居住した件数 (件/年)	0	→	0	5	0.0	総務課	D	H31年度新規事業として 取組開始
施策－3 既存住宅等を居住や仕事の場等に活用するとともに、町の景観をきれいに改善する										
P24	施策	① 空き家バンク制度の創設	なし	→	0	制度創設	0.0	総務課	D	H31.年度創設
【総合評価】										
●「新規住宅地(鏡石駅東第1土地区画整理事業地区)の整備区画数」については、目標値を大きく上回る結果となった。駅東に通勤に便利で優良な住宅・宅地の供給を促進しています。 ●「住宅着工戸数」では、目標値を大きく上回る結果となった。 ●「新規住宅取得者やおためし居住事業への助成件数」「3世代同時転入(近居)推進事業を活用して居住した件数」については、『実績値なし』となる結果となった。居住の場の確保について課題を整理しながら支援策を考える必要があります。なお、教育資金等の負担が大きい子育て世代に対する支援策を検討していく必要があります。 ●空き家バンク制度の創設については、利活用可能な空き家が存在することから、不動産業者等と協議を進めながら、バンク設置に向けた調整を進めていきます。(平成31年4月1日創設)										